

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】「問い」と「資料」に基づく歴史の授業づくり		
担当講師名	藤波 潔		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8月 6日	振替日	2021年 8月12日
講習の領域	選択必修		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	全教員		
主な受講対象者	中学校・高等学校(社会科・地理歴史科)		
履修認定時期	2021年 9月 21日		
講習形態	一般講義		

講習内容

本講義では、中等教育段階の新指導要領における歴史教育の内容を正確に理解すること、新指導要領の歴史教育で中核的な方法となっている「課題探究」型授業の根幹である「問い」の作成方法を修得すること、歴史資料の多様性について把握すること、歴史資料に基づき、生徒の実態に対応した問いを作成すること、等の習得を目的とする。

※5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
09:00～09:10	オリエンテーション
09:10～10:10	第1講:中等教育段階の新指導要領における歴史教育①(講義)
10:20～11:20	第2講:中等教育段階の新指導要領における歴史教育②(講義)
11:30～12:30	第3講:歴史教育における「問い」(講義・演習)
12:30～13:30	昼食・休憩
13:30～14:30	第4講:歴史資料の多様性(講義)
14:40～15:40	第5講:歴史資料に基づく「問い」の設定(演習)
15:40～16:10	自習時間
16:20～17:20	試験
17:20～17:30	事後評価アンケート記入・回収

試験の方法 筆記試験

評価基準 筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び演習時の活動内容

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】文学の「読みの交流」の授業づくり		
担当講師名	桃原 千英子		
会場	沖縄国際大学	（所在地）	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8月 17日	振替日	2021年 8月 23日
講習の領域	選択必修		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	全教員		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校・高等学校国語科教諭		
履修認定時期	2021年 8月31日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>文学作品の「読みの交流」を通して、「主体的・対話的で深い学び」の学習デザインを考える。 前半は「読みの交流」の基礎となるナラトロジーや読者論、読者反応理論をもとに、学習者の読みの実態や、交流を可能にする問いについて触れる。 後半は、校種ごとに交流を促す問いを作成し、実際に交流を行い読みの深まりを検証する。交流の活性化や、読みの深まりが見られない場合、どのように問えばよいか、改善策を討議する。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 「資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」について ・ 読みの交流(体験)		
10:20～11:20	第2講 読みの交流(解説) ・ 読者反応理論(児童生徒の読みの段階)		
11:30～12:30	第3講 ナラトロジー(語り手・描出表現) ・ 問いづくり		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 問いづくり		
14:30～15:30	第5講 読みの交流の実践、問いの検証		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	【選択必修】近年の教育改革に対応する学校づくりの考え方・進め方		
担当講師名	照屋 翔大		
会場	沖縄国際大学	(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8月 17日	振替日	2021年 8月 28日
講習の領域	選択必修		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	全教員		
主な受講対象者	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校		
履修認定時期	2021年 9月 30日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>今日、学校が対応を迫られる課題が複雑化・多様化し、それらへの対応を志向する教育改革が急展開している。本講習では、近年の学校教育をめぐる状況および教育改革の動向を答申や法令、統計データ等をもとに概観するとともに、状況変化に対応する学校づくりの課題や解決に向けた考え方と進め方について、学校内外での組織的対応の促進という視点に立った講義および演習を通して確認する。</p> <p>※5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:05	オリエンテーション		
9:05～10:20	第1講:学校をめぐる教育改革の特徴		
10:30～12:00	第2講:教育課題の複雑化・多様化に対応する学校組織		
12:00～12:50	お昼休憩		
12:50～14:05	第3講:「地域とともにある学校」とコミュニティ・スクール		
14:15～15:30	第4講:学校、家庭、地域の連携・協働の充実に向けた実践課題		
15:40～15:45	試験問題の配付		
15:45～16:30	試験		
16:30～16:35	答案用紙回収		
16:35～16:45	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕フィールドで学ぶ沖縄の歴史と文化		
担当講師名	宮城弘樹		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年7月31日	振替日	2021年 8月 28日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭		
主な受講対象者	琉球の歴史・文化に関心のあるすべての学校教員		
履修認定時期	2021年8月31日		
講習形態	演習		

講習内容

今帰仁グスクとその周辺を歩いて学習します。歴史遺産だけでなく、伝統文化、自然、観光産業など地域には、豊かな学習素材が綺羅星のごとく瞬いています。実際に歩いて歴史を体感する学習を行い、地域をとらえて学習を再構築することを目的とする。

5人未満の場合は講習を閉講とする。

施設への入場料が別途かかります。

講習の展開計画

時間	内容
9:00～9:10	オリエンテーション
9:10～11:10	移動車中にて、歴史学習
11:10～12:10	今帰仁城跡見学
12:10～13:10	お昼休憩
13:10～13:40	歴史文化センター見学
13:40～14:30	今帰仁城跡周辺文化財
14:30～14:40	休憩
14:40～15:30	今泊集落散策
15:30～16:00	移動車中にて、自習時間
16:00～17:00	移動車中にて、試験
17:00～17:30	移動車中にて、事後評価アンケート回答・回収

試験の方法 筆記試験

評価基準 平常点50%、試験50%

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕琉球・沖縄教育文化論 琉球・沖縄からはじめる 伝統 文化の学び		
担当講師名	田場裕規		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 7月 31日	振替日	2021年 8月 9日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭		
主な受講対象者	全教員		
履修認定時期	2021年8月31日		
講習形態	一般講義		
講習内容	<p>廃藩置県(琉球処分)前の沖縄において、どのような教育が行われていたのだろうか。先行研究は多数あるが、本講義では 伝統 文化をキーワードにして琉球・沖縄の教育文化を論じて行きたい。映像資料や実演、授業実践発表等を織り交ぜながら、各講義のテーマを受講者との対話によって考察していく。琉球芸能、琉球文学(琉歌)、琉球漢詩文、沖縄の民俗芸能などを扱う。</p> <p>5人未満の場合は講習を閉講する。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	第1講義 あいまいな 伝統 と不安定な 共同体 -エイサーは本当に沖縄の伝統か?、しまくとぅばとは何か? -		
10:20~11:20	第2講義 近世琉球の教養人に見る教育文化論-程順則・蔡温・玉城朝薫		
11:30~12:30	第3講義 なぜ琉歌は今も作られるのか? -実践事例で考える琉歌の学習		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	第4講義 琉球舞踊に見る教育文化論-今の演者よりも昔の演者は下手だった?		
14:30~15:30	第5講義 琉球・沖縄教育文化論の構築-「与那国島の祭事の芸能」を例に-		
15:30~16:30	自習		
16:30~17:30	試験		
17:30~17:40	事後評価アンケート・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕しまくとぅばと琉球の文芸		
担当講師名	西岡 敏		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8 月 1 日	振替日	2021年 8 月 5 日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	琉球文化に関心のあるすべての教諭		
履修認定時期	2021年8月8日		
講習形態	一般講義		

講習内容

しまくとぅば(琉球語諸方言)は、独自の言語圏を形成していますが、次世代への継承が危ぶまれ、ユネスコによって消滅危機言語にも指定されています。これらの言語は、歌謡や戯曲などにおいても用いられ、多くの文芸作品を生み出してきました。本講習では、しまくとぅばそのものをはじめ、しまくとぅばによる琉球文学や琉球芸能についてふれ、琉球の言語文化についての理解を深めていきたいと考えています。

5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
9:00～9:30	オリエンテーション(出欠確認・自己紹介・全体説明ほか)
9:30～10:30	第1講 琉球語(しまくとぅば)の概説
10:40～12:10	第2講 琉球語と文芸(言語作品)
12:10～13:00	昼休み
13:00～14:40	第3講 琉球文学の概説
14:40～16:10	第4講 琉球語文芸の鑑賞と解説
16:20～16:50	自習
17:00～17:30	試験
17:30～17:40	事後評価アンケートの回答および回収

試験の方法 筆記試験

評価基準 試験の点数および受講態度

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	[選択] 沖縄のフィールドから学ぶ地学		
担当講師名	伊藤 拓馬		
会場	沖縄国際大学	:(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月12日	振替日	2021年8月16日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校、中学校、高等学校教諭(理科)		
履修認定時期	2021年9月21日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>本講習では、理科の地学分野に関する知識・技能修得に重点を置き、フィールドワークと実験を交えた講義を行う。具体的には、地形・地質、環境のテーマから、沖縄の海岸地形や砂の観察、近年の環境問題として話題となっているマイクロプラスチックの抽出と観察を実践することで、地学の視点から環境問題を捉え直す。</p> <p>5人未満の場合は講習を閉講とする。汚れてもよい服装、長靴などを持参のこと。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00~9:10	オリエンテーション		
9:10~10:10	第1講 沖縄の地形・地質・環境問題		
10:20~12:30	第2講 フィールドワークの実践		
12:30~13:20	お昼休憩		
13:20~14:20	第3講 採取試料の観察と解析の実践		
14:30~15:30	総合討論		
15:30~16:30	自習時間		
16:30~17:30	実技考査		
17:30~17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	実技考査の得点と講習の修得度		
評価	点数	評価の定義	
S	90~100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80~89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70~79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60~69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0~59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕英語の発音におけるDo's & Don'ts:理論と実践		
担当講師名	李 イニッド		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月12日	振替日	2021年8月13日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭、中学校・高等学校英語科教諭		
履修認定時期	2021年9月30日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>英語コミュニケーションを円滑に図っていくためには、カタカナ英語から脱却し、英語耳と英語口を作らなければいけない。まずは英語の発音におけるDo's & Don'ts (べし、べからず)をしっかりと理解し、そして実践できるようにする。本講座は英語音声の理論知識と実践スキルを身につけ、英語を聞く力、話す力、指導する力を向上することを目指す。母音と子音の正しい発音から、音の連結、脱落、同化、アクセント、リズム、句切り、イントネーションまで、英語の音声を楽しく効率よく学ぶ。</p> <p>5人未満の場合は閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション		
9:10～10:10	第1講 セルフアセスメント・発音器官		
10:20～11:20	第2講 英語の母音・子音のDo's & Don'ts		
11:30～12:30	第3講 英語の音節・アクセント・リズムのDo's & Don'ts		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 音の連結・脱落・句切り・イントネーションのDo's & Don'ts		
14:30～15:30	第5講 指導方法・学習ツールの紹介		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の受講態度		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕いまさら聞けない統計学		
担当講師名	齋藤 星耕		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8月 13日	振替日	2021年 8月 16日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭		
主な受講対象者	教諭、養護教諭、栄養教諭		
履修認定時期	2021年8月20日		
講習形態	その他		

講習内容

専門家ならずとも「統計学的に有意」という言葉はしばしば耳にするが、どういう意味だろうか。統計分析は、我が国では高校では僅かしか触れられず、また専門書は精緻な数学で綴られているために敷居が高い。そこで本講義では、「絵を見て理解する・使って慣れる」ことに主眼を置き、フリーソフトを用いて受講者自身が簡単な統計分析を行えるように講義と演習を行う。演習では学業成績の分析に加え、健康科学や食品科学のデータも扱う。

ノートパソコンを持参してください。
5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容
9:00～9:10	オリエンテーション
9:10～10:10	第1講 統計分析は何のため？
10:20～11:20	第2講 棒グラフを見かけたら（平均、分散、平均値の差の検定）
11:30～12:30	第3講 集計表を見かけたら（カイ自乗検定）
12:30～13:20	お昼休憩
13:20～14:20	第4講 散布図で表現できるデータの分析（回帰分析入門）
14:30～15:30	第5講 データを分類&データの背景を探る（多変量解析入門）
15:30～16:30	自習時間
16:30～17:30	試験(実技考査)
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収

試験の方法 実技考査

評価基準 統計ソフトを用いて、適切な手法を選択して統計分析の課題を解くことが出来る

評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕 小学校教員のためのプログラム言語Scratchによる授業実践法		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月13日	振替日	2021年8月16日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育, IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2021年8月20日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>世界的なプログラミング必修化の流れもあり, 国内でも義務教育段階からのプログラミング教育の導入が決定している。</p> <p>本講習では一般の生徒らが教養として楽しめるプログラムの作成方法について学ぶとともに, 小学校での授業内容と連動した授業実践法について学ぶ。具体的にはプログラム言語「Scratch(スクラッチ)」を用い, プログラムの基本処理(順次・反復・分岐)を身につけ, 算数, 理科, 音楽などの情業での活用法を修得することを目指す。</p> <p>5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:30～9:40	オリエンテーション		
9:40～10:40	スクラッチの超簡単入門(基本操作)		
10:50～11:50	ねこを歩かせてみよう(基本処理:順次処理, 反復処理)		
11:50～12:50	お昼休憩		
12:50～13:50	授業科目と関連したプログラミング活用(1)		
14:00～15:00	授業科目と関連したプログラミング活用(2)		
15:10～16:10	授業科目と関連したプログラムの作成(個人課題作成)		
16:20～17:20	成果発表会(実技考査)		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	実技考査		
評価基準	制作課題の完成度と講義内容の修得度, 及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し, 説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し, 説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し, 説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち, 最低限の部分は理解し, 説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	[選択] ARプログラミング入門 - Processingで作る拡張現実の世界 -		
担当講師名	小渡悟		
会場	沖縄国際大学	:(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月17日	振替日	2021年8月19日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	プログラミング教育, IT教育に関心のある教諭		
履修認定時期	2021年8月24日		
講習形態	演習		

講習内容

Processingはプログラミング言語と開発環境をあわせた便利なツールです。簡単な記述でプログラミングが行え、特にグラフィックが簡単に描けることからプログラミング入門者の学習、メディアアーティストによるメディアアートの作成など、幅広く利用されています。本演習では現実に情報を重ねるAR(拡張現実)を実現するための手法を学びます。本講習を受講することで科目にあわせた綺麗なビジュアルの教材作成が可能となります。

5人未満の場合は講習を閉講とする。

講習の展開計画

時間	内容	
9:30～9:40	オリエンテーション	
9:40～10:40	基本操作	
10:50～11:50	アニメーションと2D・3Dグラフィック	
11:50～12:50	お昼休憩	
12:50～13:50	ライブラリの活用	
14:00～15:00	AR(拡張現実)の表現	
15:10～16:10	CGを用いた作品作成(個人課題作成)	
16:20～17:20	成果発表会(実技考査)	
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収	
試験の方法	実技考査	
評価基準	制作課題の完成度と講義内容の修得度, 及び講習時の発言内容	
評価	点数	評価の定義
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕知ってはいけない！本当の沖縄(沖縄政治経済論)		
担当講師名	前泊博盛		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8月17日	振替日	2021年8月18日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	教諭		
履修認定時期	2021年9月6日		
講習形態	一般講義		
講習内容	沖縄を知る講座		
<p>沖縄の現状と課題、展望を概説します。知っているようで知らない沖縄の歴史、政治、経済、社会の仕組みを検証し、児童生徒への授業の中で、役立つトピックスを提供します。沖縄戦、米軍統治、沖縄返還(本土復帰)、米軍基地(普天間・辺野古問題など)、沖縄経済(低賃金、低所得、高失業、貧困連鎖など)、基地・観光・公共事業依存(3K依存経済)など主要テーマを解析します。</p> <p>5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>			
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	講義の概要とオリエンテーション(自己紹介など)		
9:10～10:10	1時間目： 沖縄の現状(低賃金、高失業、低進学率、貧困、基地問題、環境問題)		
10:20～11:20	2時間目： 沖縄の歴史(沖縄戦、米軍統治、本土復帰)		
11:30～12:30	3時間目： 沖縄の経済(3K依存経済、ザル経済、新10K経済と沖縄振興計画)		
12:30～13:20	昼食休憩		
13:20～14:20	4時間目： 沖縄の政治(基地返還・普天間・辺野古問題、基地被害、保守と革新)		
14:30～15:30	5時間目： 沖縄の未来像(新沖縄振興開発計画、21世紀ビジョンの解析)		
15:30～16:30	6時間目： 筆記試験(検定)		
16:30～16:40	事後評価アンケート回答、回収(質疑応答など)		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	講義の内容を踏まえ評価します		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕琉球・沖縄を教材とした地理学習の指導法		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月17日	振替日	2021年9月13日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2021年 8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>社会科・地理学習における指導方法を考える際に、重要な事項として、地理教育の方法論、地理の学習理論、地理的技能の修得、現代社会との関係性などが挙げられよう。本講習では、2022年度から施行される高等学校必修科目「地理総合」への対応を意識して、「沖縄の地理」の教材化の方法について検討したい。</p> <p>受講希望者が5人未満の場合は閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:20	オリエンテーション		
9:20～12:10	社会科地理教育の方法と課題－新学習指導要領への対応－		
12:10～13:00	お昼 休憩		
13:00～14:30	琉球・沖縄関連の地図資料の特徴(古地図、近代地形図、現代地形図など)		
14:30～15:30	地理的技能を高める授業方法(地形図の読解、主題図作成、空中写真の判読)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	〔選択〕地図を学ぶ		
担当講師名	小川 護		
会場	沖縄国際大学	〔所在地〕	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年 8 月 19 日	振替日	2021年 8 月 26 日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭		
履修認定時期	2021年9月9日		
講習形態	演習		
講習内容	<p>小学校から高等学校まで、多くの授業で地図を活用することは、充実した魅力ある授業づくりに役立ちます。2020年からの新学習指導要領では、社会科を中心に地図活用度がますますその高まりをみせています。本講座では地図やGIS(地理情報システム)の活用方法について最新の地図事情を含め、地図についての基礎知識をお伝えしたいと思っています。</p> <p>5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:10	オリエンテーション(出欠確認)		
9:10～10:10	第1講 地図の基礎知識		
10:20～11:20	第2講 地球上での位置情報について(丸い地球から平面の地図へ)		
11:30～12:30	第3講 GISの基礎入門(地理情報システムとはなにか)		
12:30～13:20	お昼休憩		
13:20～14:20	第4講 GISソフトを活用して地形図読図を体験する(地形・土地利用・歴史的变化など)		
14:30～15:30	第5講 地図を用いた地理授業の展開(GISを用いた教材作りとその活用)		
15:30～16:30	自習時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	口頭試験		
評価基準			
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	

教員免許状更新講習シラバス

開設講習名	[選択] フィールドで学ぶ沖縄の地理空間		
担当講師名	崎浜 靖		
会場	沖縄国際大学	:(所在地)	沖縄県宜野湾市
開設日	2021年8月23日		振替日 2021年 9月14日
講習の領域	選択		
時間数	6時間		
履修認定対象職種	教諭		
主な受講対象者	小学校教諭・中学校の社会科教諭・高等学校の地歴科教諭		
履修認定時期	2021年8月31日		
講習形態	その他		
講習内容	<p>社会科・地理教育における課題の一つとして、生徒が実際の地理的空間に展開されている事象と、教科書・地図帳に記載されている事象とを関連させて、「思考」を深めることができないことが挙げられる。それを克服する方法として、地理教育では古くから野外学習(巡検)を実施してきた。本講習では、学校現場で応用できるように、地形図・空中写真・歴史資料を用いながら、上記の課題を検討したい。 沖縄本島中部地域のバス巡検を実施する。</p> <p>受講希望者が5人未満の場合は講習を閉講とする。</p>		
講習の展開計画			
時間	内容		
9:00～9:15	オリエンテーション		
9:15～10:40	5号館屋上から普天間基地を見学後、沖縄国際大学を出発		
10:40～12:00	宜野湾市～中城村～北中城村～沖縄市(都市景観の特性、米軍基地返還跡地の利用など)		
12:00～13:00	お昼 休憩(県総合運動公園)		
13:00～15:30	沖縄市～うるま市(浜比嘉島・平安座島・宮城島・伊計島の地理的景観)		
15:00～15:30	うるま市～宜野湾市(沖縄国際大学)		
15:30～16:30	自由時間		
16:30～17:30	試験		
17:30～17:40	事後評価アンケート回答・回収		
試験の方法	筆記試験		
評価基準	筆記試験の得点と講義内容の修得度、及び講習時の発言内容		
評価	点数	評価の定義	
S	90～100点	講習の到達目標の内容をほぼ完全に理解し、説明できるものと認められる。	
A	80～89点	講習の到達目標の内容を十分に理解し、説明できるものと認められる。	
B	70～79点	講習の到達目標の基幹部分は理解し、説明できるものと認められる。	
C	60～69点	講習の到達目標のうち、最低限の部分は理解し、説明できるものと認められる。	
F	0～59点	講習の到達目標に及ばない。	